

2010 年

2020 年

2030 年

2050 年

国土・森林管理技術

保安林として管理すべき面積：12,451千ha
森林・林業基本計画工程表(林野庁)2018年

温暖化による気候変動への対応

- 地球温暖化影響予測

気候変動による山地災害危険
度変化予測手法の高度化

山地災害データベース作成
(森林資源 DB との連携)

長期運用・更新

森林の多面的機能と施業影響

- 広葉樹林化等の施業影響評価

山地災害防止機能の
定量的評価

山地災害防止の
ための森林管理技術の開発

山地災害防止
システムの確立

観測・監視技術

温室効果ガス観測技術衛星
(GOSAT) JAXA 資料

全球降水観測衛星
(GPM) JAXA 資料

準天頂衛星
JAXA 資料

広域・流域・個別斜面単位での 観測・監視技術の開発

- 遠隔探査、地上、地中設置型観測技術の活用法

リアルタイム観測・監視技術の開発
センシング技術の開発

遠隔探査技術・地上設置型
観測技術の活用法の高度化

減災・防災技術

ハザードマップ作成技術の向上

- 数値モデル等によるハザード
マップ作成技術の開発

山地災害発生リスク
評価手法の開発

山地災害の発生予測技術と
対策技術の高度化

治山施設の機能向上のための技術開発

- 治山施設の機能評価

治山施設の効果的配置法

気候変動に
対応した
山地防災力の
向上